

第 2 1 期 第 1 回町田市立図書館協議会配布資料一覧

- 【資料 0】 第 21 期 第 1 回町田市立図書館協議会次第
- 【資料 1】 第 21 期 町田市立図書館協議会委員名簿
- 【資料 2】 図書館協議会議事録の作成並びに発言ルールについて
- 【資料 3】 町田市生涯学習審議会委員の推薦について
- 【資料 4-1】 町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員の推薦について（依頼）
- 【資料 4-2】 町田市子ども読書活動推進計画推進会議への委員選出について
- 【資料 4-3】 第五次町田市子ども読書活動推進計画概要版
- 【資料 5-1】 外部評価に基づく図書館の取組
- 【資料 5-2】 第 4 期図書館評価について
- 【資料 5-3】 第 4 期図書館評価項目
- 【資料 5-4】 2024 年度点検及び評価シート（図書館）
- 【資料 5-5】 2024 年度事業別行政評価シート（中央図書館・抜粋）
- 【資料 6】 図書館からの報告事項
- 【資料 7】 つるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」のオープンについて
- 【資料 8-1】 POP コンテスト 2025 ポスター
- 【資料 8-2】 POP コンテスト 2025 図書館協議会賞の投票について
- 【資料 9-1】 町田市立図書館地域資料等デジタル化について（報告）
- 【資料 9-2】 デジタル化地域資料リスト

第 2 1 期 第 1 回町田市立図書館協議会次第

■日 時：2025年9月26日（金） 14：00～16：00

■場 所：町田市立中央図書館 6階中集会室

■次 第：

- 1 図書館長挨拶
- 2 委員自己紹介
- 3 委員長・副委員長の選任及び挨拶
- 4 町田市生涯学習審議会委員の推薦について【資料3】
- 5 町田市子ども読書活動推進計画推進会議への委員選出について【資料4】
- 6 図書館評価について【資料5】
- 7 図書館からの報告事項【資料6～9】
- 8 その他

町田市立図書館協議会 第 2 1 期委員名簿

任期（2025年8月1日～2027年7月31日）

選出区分	氏 名	所 属	備考
1号学識経験を有する者	こやま けんじ 小山 憲司	中央大学 文学部 教授	新任
〃	なかむら たくま 仲村 拓真	山口県立大学国際文化学部 文化創造学科 講師	3期目
2号学校教育の関係者	くどう みのる 工藤 成	町田市立公立小学校長会 (南第三小学校長)	新任
〃	おおいし しんじ 大石 眞二	町田市立公立中学校長会 (鶴川中学校長)	2期目
3号社会教育の関係者	なかがわ ひな 中川 妃菜	公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム	2期目
〃	ふくだ ゆみこ 福田 有美子	一般社団法人 つるかわ子どもこもんず	3期目
〃	たかはし みねこ 高橋 峰子	NPO法人 まちだ語り手の会	2期目
〃	よしだ かずお 吉田 和夫	町田市生涯学習審議会委員	4期目
〃	にがわら よういち 二川原 陽一	図書館障がい者サービスボランティア	2期目
4号家庭教育の向上に資する活動を行う者	わかいろ なおみ 若色 直美	NPO法人 子ども広場あそべこどもたち	5期目

図書館協議会議事録の作成並びに発言ルールについて

2025年9月26日（金）
町田市立図書館協議会事務局

【作成要領、基本事項】

1. 議事録は、要旨として作成し、発言者名はアルファベットに変換したうえで併記します。
2. 確定後の議事録は、町田市立図書館ホームページに掲載をします。

【議事録作成の流れ】

1. 事務局が（仮）議事録を作成します。（3～4週間後程度）



2. 各委員宛に（仮）議事録をメールで送付、確認をしていただきます。
確認期間は、概ね4～5日間とします。



訂正の申し出があった場合、訂正内容を見え消しにした版と最終版を作成し、再度各委員宛にメールで送付、確認をしていただきます。

★（仮）議事録の訂正範囲について

原則として、訂正可能なケースは以下2点に限るものとします。

- ①表記の誤り（誤字、脱字等）
- ②発言の趣旨を正しく伝えるため、どうしても訂正が必要なもの
（文章の推敲となるような内容の訂正はご遠慮ください。）



3. 議事録の確定は、メールにて最終版を送付した内容の確認をもって、了承されたものとします。

【会議における発言ルール】

議事録は、録音データに基づき筆耕翻訳するため、発言ルールとして以下の点についてご協力をお願いいたします。

1. 発言に当たっては挙手をし、委員長に発言の許可を求めください。
2. 委員長は「〇〇委員」と名前でご指名ください。
3. 委員長の指名後、冒頭「〇〇です。」と名乗ってからご発言ください。
4. 委員長自身の発言も、冒頭「委員長ですが」としてからご発言ください。

町田市生涯学習審議会委員の推薦について

■町田市生涯学習審議会の概要

○目的

生涯学習審議会（以下「審議会」という。）は、教育委員会の諮問に応じて、生涯学習の振興及び社会教育に関する基本方針の立案、施策及び事業について調査審議する機関です。

○所掌事務

審議会は、教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査、審議し答申します。

- ①生涯学習の振興及び社会教育（体育及びレクリエーションの活動を含む。以下同じ。）に関する基本方針を立案すること。
- ②生涯学習及び社会教育に関する施策及び事業を評価すること。
- ③上記に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

○委員の構成

「町田市生涯学習審議会条例」で定める委員構成は以下のとおり

- ①社会教育委員（8人以内）
- ②生涯学習または社会教育の関係機関の代表（5人以内）
- ③公募による市民（2人以内）

○任期

第7期 2024年4月1日～2026年3月31日

第8期 2026年4月1日～2028年3月31日

■図書館協議会からの推薦

審議会からの依頼のもと、「生涯学習または社会教育の関係機関の代表」として図書館協議会から委員を1名推薦しています。

第19期及び第20期図書館協議会においては仲村拓真委員を推薦し、審議会委員を務めていただきました。

今般第21期図書館協議会の開始にあたり、あらためて審議会委員の推薦を行います。

25町教生図第144号

2025年9月26日

町田市立図書館協議会委員長 様

町田市立図書館長 中嶋 真

町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員の推薦について（依頼）

日頃より、町田市の図書館行政にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、従前より町田市子ども読書活動推進計画推進会議に「町田市立図書館協議会」より委員の推薦をいただいておりますが、下記のとおり引き続きご推薦くださいますようお願い計らいのほどよろしくお願いいたします。

記

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 1 名 称 | 町田市子ども読書活動推進計画推進会議委員 |
| 2 任 期 | 2025年11月1日から2027年10月31日 |
| 3 推薦人数 | 1名 |
| 4 提出期限 | 2025年10月10日（金）まで |
| 5 提 出 先 | 下記問い合わせ先もしくは図書館協議会事務局までお願いします。 |

問い合わせ先

町田市立図書館企画・地域支援係

担当：野木・吉田・廣瀬

電話：042（728）8220

町田市子ども読書活動推進計画推進会議への委員選出について

1 町田市子ども読書活動推進計画推進会議について

町田市子ども読書活動推進計画推進会議では、町田市子ども読書活動推進計画（以下「計画」という。）を効果的に推進するため、子どもたちに関わる市民と行政が同計画の進捗状況について、確認や情報交換を行っています。

2 委員の構成

「町田市子ども読書活動推進計画推進会議設置要領」で定めている委員の人数は14人です。内訳は、次のとおりです。

町田市公立小学校長会の代表 1人
町田市公立中学校長会の代表 1人
町田市立小学校の読書活動に携わる保護者 1人
町田市立中学校 PTA 連合会の代表 1人
町田市私立幼稚園協会の代表 1人
町田市法人立保育園協会の代表 1人
図書館又は学校図書館に係るボランティア 2人
町田市立図書館協議会の代表 1人
子ども生活部児童青少年課長
子ども生活部子育て推進課長
教育委員会事務局学校教育部教育総務課長
教育委員会事務局学校教育部指導課長
教育委員会事務局生涯学習部図書館長

3 任期

2年

（2025年11月1日～2027年10月31日）

4 開催回数

年2回程度

日程は都度調整します。平日の昼間、2時間程度です。会場は中央図書館です。

5 謝礼

会議1回の出席につき10,500円

第五次町田市子ども読書活動推進計画概要版 (2025年度～2029年度)

1 意義と目的

読書活動について、「子どもの読書活動の推進に関する法律」(2001年公布・施行)では、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものである」(一部抜粋)としています。

町田市では、このような子どもの読書活動を総合的・計画的に推進するため、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、町田市子ども読書活動推進計画を策定しています。

2 期間・対象

2025年度から2029年度までを計画期間とし、0歳からおおむね18歳までの子どもたちを対象とします。

3 子ども読書の課題

① 不読率の低減

1か月に本を1冊も読まない子どもの割合(不読率)を下げ、本を読むことが好きな子どもの割合を上げるための取組が必要です。成長段階に応じた取組や子ども・若者自身がイベントを企画するなど、同世代が興味を持つような取組が重要です。

② 読書環境の整備と機会の確保

いつでも・どこでも子どもが本を読めるような読書環境を整えることや、多様な子どもたちの読書機会の確保が求められています。また、デジタル社会への対応が求められています。

③ 人材の育成・支援

上記のことを行うためにも、読書活動に関わる人材が重要になります。子どもの読書活動を広げ、支えている人々への研修やフォローが大切になります。

4 基本的な考え方

基本理念・基本目標に基づいた取組を実施します。取組は取組グループごとにまとめて表示します。



基本理念 自ら進んで読書をする子どもを育てる



読書は、読解力・想像力・思考力・表現力等を養い、これからの社会で必要とされる能力を育むのに、最適な手段と考えられます。自ら進んで読書をすることで、「学び続ける力」が身に付き、生涯を通してさまざまなことを学ぶことで、自身のウェルビーイングの向上につながっていきます。

基本目標Ⅰ：子どもが本と出会うきっかけ作り

子どもたちに「読書は楽しい」と感じてもらえるよう、成長段階に応じた子どもの興味を引く取組など、本に触れあえるさまざまな機会を提供していきます。

取組グループ	取組番号	町田市教育プラン 24-28 掲載	新規・継続	取組名	担当課	対 象					
						乳児	幼児	小学生	中学生	保護者	その他
おはなし会の実施	1		継続	図書館のおはなし会	図書館	○	○	○		○	
	2		新規	文学館のおはなし会	図書館（文学館）	○	○			○	
	3		継続	学童保育クラブのおはなし会	児童青少年課			○			
	4		継続	子どもセンターのおはなし会	児童青少年課	○	○	○	○	○	
	5		継続	「子育てひろば」のおはなし会	子育て推進課	○	○			○	
ブックトークの実施	6		継続	児童・生徒へのブックトーク	図書館		○	○	○		
ブックリストの作成・配布	7		継続	おすすめブックリスト	図書館	○	○	○	○	○	○
	8		継続	赤ちゃんにおすすめの絵本の紹介	保健予防課	○				○	
子ども読書の周知活動	9	○	継続	図書館のイベント・講座	図書館			○	○		
	10	○	新規	若者の参画イベント	図書館				○		
	11		継続	図書館見学の受け入れ（利用ガイダンス、施設見学）	図書館		○	○	○		
	12	○	新規	移動図書館の出張運行	図書館	○	○	○		○	○
	13	○	継続	文学館のイベント・講座	図書館（文学館）			○	○		
	14	○	新規	絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会	図書館（文学館）	○	○	○	○	○	○
	15		継続	マイ保育園登録時の絵本配布	子育て推進課	○				○	
学校での読書活動	16		継続	各校特色のある読書活動	指導課			○	○		

※中学生～：中学生～高校生世代 その他：先生や施設職員・市職員・ボランティアなどを含みます。

※第四次町田市子ども読書活動推進計画に掲載されていない取組を「新規」、引続き取組む取組を「継続」としています。

基本目標Ⅱ：いつでも身近なところに本がある環境作り

デジタル化への対応や、多様な子どもたちに対して読書ができる環境を提供することが必要です。また、それらの情報発信を行っていきます。

取組グループ	取組番号	町田市教育プラン 24-28 掲載	新規・継続	取組名	担当課	対 象					
						乳児	幼児	小学生	中学生	保護者	その他
本と出会える場所	1		新規	町田第一中学校図書室 ここまちベース	生涯学習センター	○	○	○	○	○	○
	2		新規	玉川学園駅前連絡所 児童図書室	市民課（玉川 学園駅前連絡 所）	○	○	○		○	
本の充実	3		継続	図書館	図書館	○	○	○	○	○	○
	4		継続	子どもセンター	児童青少年課	○	○	○	○	○	
	5		継続	公立保育園および地域 子育て相談センター	子育て推進課	○	○			○	
学校図書館の 充実	6		継続	学校図書館支援貸出	図書館			○	○		○
	7	○	継続	学校図書館の蔵書整備	教育総務課			○	○		
	8		継続	「学校図書館活用の 手引き」の活用	指導課						○
	9	○	新規	学校図書館の運営人材 の確保	指導課						○
	10	○	新規	電子書籍サービスの 活用	指導課			○	○		
情報の発信	11		継続	図書館ホームページ等 での情報発信	図書館			○	○	○	○
	12		新規	「みんなが読める本」 の周知活動	図書館		○	○	○	○	○
	13		継続	「家庭学習推進の手引 き」の提供	指導課					○	
	14		継続	「子育てひろばカレン ダー」の発行	子育て推進課					○	

基本目標Ⅲ：子どもの読書に関わる人の育成と支援

読書環境を支え広めてくれる人たちの育成・支援を行っていきます。また、人材の確保や、スキルアップのための研修などを進めます。

取組グループ	取組番号	町田市教育プラン 24-28 掲載	新規・継続	取組名	担当課	対 象					
						乳児	幼児	小学生	中学生	保護者	その他
学校関係者への研修	1		継続	学校図書館担当者研修	指導課						○
	2		継続	新任教諭への図書館 研修	指導課						○
ボランティア 支援	3	○	継続	市民向け絵本の読み聞 かせ講座	図書館					○	○
	4	○	継続	おはなし会ボランティ アの養成講座	図書館					○	○
保護者向け 講座	5		継続	児童文学講座	図書館（文学 館）					○	○

5 成果指標

基本理念である「自ら進んで読書をする子どもを育てる」を目指すため、成果指標を設定します。読書好きの子どもを増やし、本を読まない子どもの割合を減らすことを目指します。

【本を読むことが好きな子どもの割合】

町田市	小学2年生	小学5年生	小学生平均	中学2年生	中学生平均
第五次計画目標値 2028年度 (令和10年度)	67.5%	44.8%	52.9%	26.8%	30.0%
2022年度 (令和4年度)	61.4%	40.7%	48.1%	24.4%	27.3%

資料：令和4年度 児童及び生徒の読書の状況に関する調査（東京都教育委員会）

【1か月に本を1冊も読まない子どもの割合（不読率）】

町田市	小学2年生	小学5年生	小学生平均	中学2年生	中学生平均
第五次計画目標値 2028年度 (令和10年度)	2.3%	7.3%	6.3%	12.0%	11.6%
2022年度 (令和4年度)	2.6%	8.1%	7.0%	12.8%	12.9%

資料：令和4年度 児童及び生徒の読書の状況に関する調査（東京都教育委員会）

※ここでの本には、教科書、雑誌、漫画、写真だけの写真集、絵だけの絵本や画集は含まない。

6 推進体制

この計画は「町田市子ども読書活動推進計画推進会議」で、取組の確認・点検を行い、その後の子ども読書活動や計画の見直しに活用していきます。

また、最新の子ども読書活動の状況について情報交換を行い、取組結果報告書等については、図書館ホームページに公開します。



計画中の用語について

この計画における用語の定義は以下の通りとします。

【本（書籍・図書）】

「本」には、新聞、雑誌、チラシ、インターネット記事は含まない。

文字のない絵本や、図鑑は「本」に含む。また、媒体は問わず、電子書籍（オーディオブック含む）やマルチメディアデージー、点字、音訳されたものも含むものとする。

【読書】

本（書籍・図書）を読むこと。「読書」には教科書、参考書、漫画は含まない。

読み聞かせも「読書」とする。

外部評価に基づく図書館の取組

【資料5-1】

取組番号	取組名	2022年度・2023年度 評価・関連事項提言等	2023年度・2024年度 図書館の取組
2-3	子ども読書活動の推進	①「えいこのまちだ」周知のため、各種の催しを行っていることは評価できます。「子どもと一緒に英語絵本を読もう」の実施報告にあるように、開催にあたっては、更なる緻密な業務計画が必要であると考えます。 ②講演会の開催によって、多読本の周知は広がっていますが、実際に本の貸出につながるPRをするよう提案します。ふるさと納税で購入した英語絵本がもっと利用されるようさらなる魅力の発信が必要です。 ③読書バリアフリーについて、よりしっかりと考え、様々な障がいのある人達や外国にルーツのある市民への読書支援が一層必要だと考えます。 ④子ども読書活動推進計画において、様々な障がいのある子どもたち（市民も含めて）の読書バリアフリーの推進と対応を一層図ることが必要です。	①夏休み期間に「英語絵本おはなし会」を開催しました。（2023・2024年度・忠生） ②PRのために新しいチラシを作成し、読み聞かせ向きの絵本の紹介、電子書籍サービス・ふるさと納税の紹介をしました。 ③第五次子ども読書活動推進計画にも掲載されていますが、「やさしい日本語」の本について検討を進めていきます。 ④「アクセシブルな本」と併せて、リーディングトラッカーのような読書補助用具を紹介することで、読書が快適になる環境も体験できるようにしていきます。
2-4	学校図書館との連携強化	①学校図書館支援貸出が23校と前年から3校減少、目標値の42校の約半数となっており、より積極的な周知活動が必要であると考えます。テーマ別貸出セットは活用の際とても選びやすく良策だと思いますので、電子版等も含めラインナップの整備を進め、周知していくとよいと思います。	①「テーマ別貸出セット」を追加購入し、学校図書館支援貸出資料を充実させました。（2023年度）よく依頼をいただくテーマの本をリスト化した「学校支援おすすめリスト」を図書館ホームページに掲載し、各学校へ周知しました。（2024年度）2024年度の学校支援貸出は、小中学校あわせて前年度から13件増えて75件の依頼があり、貸出は前年度から472冊増えて合計で2,660冊の貸出がありました。
2-5	生涯学習施設の利用促進	①Xでの情報発信は、「図書館の日常」のようなものを発信してみてもどうでしょうか。	①市役所の各部署と連携して行う「コラボ特集コーナー」、その他イベント等について情報発信を行っています。
2-6	読書普及事業の充実	①「わいわいキャレル」の利用が大幅に増加したのは～中略～利用者の声を反映する仕組みや新たなPR方法（全校配布等）、平日の開催、席数の増加、音の影響しない配慮等を検討し更なる利用促進を期待します。	①わいわいキャレルのポスターを新しくし、YA通信に同封する形で、市内各中学高校、子どもセンター等に配布、HPのお知らせに記事を載せました。（2024年度・中央）
2-7	シニア世代向け事業の充実	①大人のためのおはなし会は、視力の問題等で活字が読みにくい高齢者が書物に触れるいい機会だと思うので、開催館、回数の増加をぜひ検討してほしいです。 ②特集展示により、関連本の貸出も増えているなど、効果が上がっていることを評価できます。認知症予防というテーマを取り上げたことも的を射ていると思います。今後も、ライフステージに応じた情報提供や講座の開催等の準備を期待しています。	①大人のためのおはなし会を実施しました。内容：朗読、紙芝居、大型絵本、唱歌等（金森） ②高齢者向けの特集を多数実施しました。（中央・木曾山崎・忠生・堺）
2-8	障がい者サービスの充実	①事業の目標は達成しており評価できますが、障がい者向けのサービスが充実したと言えるのかは不明であると考えます。	①デジター再生端末の貸出制度を開始し、障がい者サービスに係るパソコン機器等の更新対応を開始しました。自館作成資料の拡充を図るため機器等を整備します。 ・図書館プランナーと協働でイベントを実施し、継続して行っている上映イベントを協働開催することで、一層効果的に行うことが出来ました。
2-9	図書館資料による情報提供機会の充実	①「本の特集コーナー」は計画以上に目標を達成しており、評価することができます。資料提供という面で効果的な取組ですので、これからも継続して取り組むべき事業だと考えます。	①コラボ特集を実施しました。（2024年度・中央、さるびあ、金森、木曾山崎、堺、鶴川駅前、忠生）
3-8	レファレンスサービスの充実	①昨今、ICTがどの家庭でも標準装備となり、レファレンスサービスの受付件数が減ることが余儀なくされている中、目標値を越えたことは評価できます。レファレンス通信にも興味深い事例が掲載されていて面白いですが、しかし、年2回の発行や地域館各館や生涯学習センター等の庁内関係課、市内の高等学校への送付のみで、部数は1回あたり300部とはあまりにも少なく、効果的ではないと感じます。対策を検討してください。	①中高生向けレファレンス講座を謎解き仕立てで実施し、若年層に対するレファレンス窓口のPRを行いました。 ・和光大学において、和光大学・川崎市との共催講座「大学図書館を使ってみよう！」を5年ぶりに開催しました。 ・老朽化していたマイクロフィルム閲覧端末の買替えを行い、資料閲覧環境の充実を図りました。

4-3	地域で活動するボランティアの養成・支援	①前年度の取組の方向性として「図書館全館でどのように実施するのが有効か検討する」とありますが、開催場所を中央図書館に集約したことが影響しているのか検証が必要と考えます。 ②ボランティア活動の未経験者に対して、おはなし会の存在や担い手の仕事の魅力を周知する取組を行い、参加機会を増やす施策を希望します。	①絵本の読み聞かせ講座「基礎編」を実施しました。（2023年度・中央、金森、忠生） ・絵本の読み聞かせ講座を実施しました（2024年度・基礎編：中央、金森、実践編：中央） ②おはなし会ボランティア養成講座を開催しました。乳幼児（2023年度乳幼児・2024年度絵本）
4-7	図書館運営の地域協働化の促進	①若者が図書館を利用することが少なくなっているということを踏まえると、その若者の目線から図書館でのイベントの企画、実施等をすることはとても重要だと考えているため、これからも続けていくべきだと思います。	①引き続き、図書館プランナー（若者イベントボランティア）と協働でイベントを検討します。
5-2	本と出会う場所の創出	①「関係団体と協力してイベントを実施」とありますが、鶴川の設立準備会との1件しか報告がない上、これを「利用施設との連携」とするのはいかがなものでしょうか。	①忠生地域子育て相談センター主催の「出張子育てひろば」にて図書館のPRとミニおはなし会を実施したほか、市内子どもセンター等と連携して出張おはなし会を実施しました。
5-5	図書館利用者の利便性の向上	①デジタル技術の急速な発展・普及は市民生活とは切り離せないものとなった現在、電子書籍は様々な理由から図書館を訪れることが困難な市民にとっても、「本と出合い」「本を愉しむ」機会を得られる貴重なコンテンツであると考えます。電子書籍の利便性を広く周知し活用を促すことは、「市民の声」を収集できることにも繋がると考え、今後も範囲を広げた積極的なPR活動の継続を期待します。	①現在、図書館以外でのPRはカフェなどの施設や市の施設のイベントで行ってきておりますが、今後は、webで登録できるようになることもあり、病院などに広げる予定です。 ・市民センターまつり等で電子書籍のブースを出展し、2024年度は英語絵本の読み上げ機能も紹介しました。（2023・2024年度）
5-6	地域資料の活用の推進	①学校での探究学習や各施設における講座等における活用を促す。 ②OPACから電子書籍システムに収載した地域資料へアクセスできるようにする。市外からの閲覧にも対応する。	①公開した町田市地域資料について学校教育部の担当者に周知して活用いただくよう案内を検討します。 ②地域資料のデジタル化を行いました。電子書籍サイトに公開し、サンプルで全文閲覧ができるようにしました。（2024年度）
5-7	市民のニーズに合った図書館事業の実施	①市民意識調査の結果報告書によれば、図書館サービスの認知度に関する設問では、多くの図書館サービスに対して「知らない」と回答した人の割合が高く、PRに課題がみられます。来館者以外にも、図書館サービスについて周知することを期待します。 ②図書館を利用していない人々（潜在利用者）への調査は、積極的に検討すべきであるといえます。	①「南市民センターまつり」や「まちカフェ！」などのイベントで電子書籍サービスの周知を行っています。2023年度は9件、2024年度は7件のイベントで周知を行いました。 また飲食店などでは、名刺サイズ広告を配布する周知を引き続き行っています。 ②今後も機会をとらえて、図書館を利用されていない方へのPRについて、調査および実施をしたいと考えております。

図書館評価について

1. 図書館評価の経緯

- ・ 2008 年の図書館法改正を契機として、図書館評価に取り組むこととしました。図書館自身が運営の状況を自己点検し、改善するとともに、積極的に情報提供を行うことが努力義務とされています。
- ・ 第 1 期 2009 年度～2013 年度
図書館の運営およびサービスについて評価項目を設定し、5 年間で到達すべき目標、及び単年度の取組目標を設定しその達成状況を評価しました。
- ・ 第 2 期 2014 年度～2018 年度
『図書館事業計画』を基に活動指標を選び、当該年度の実績と取組を記入しました。図書館の実態を分かりやすく公表することを目標に、事業活動の評価を行いました。
- ・ 第 3 期 2019 年度～2023 年度
『生涯学習推進計画 2019－2023』の項目を評価対象としました。図書館が取り組みたい項目を具体的に示していて、年度目標も設定していました。
- ・ 2009 年度から図書館協議会に外部評価を依頼しています。

2. 第 4 期図書館評価・外部評価（案）について

ア、図書館評価の対象

第 3 期で評価対象としていた『生涯学習推進計画 2019－2023』が『町田市教育プラン 2019－2023』と統合されて『町田市教育プラン 24－28』に引き継がれました。そのため、『町田市教育プラン 24－28』の図書館該当項目（5 事業 13 指標）を対象とし、加えて年度ごとに指定した館（直営館 6 館）を図書館評価の対象とします。

イ、外部評価の実施概要

- ・ 第 1 回協議会では、評価の流れの説明と、教育プランの各取組項目の内容について説明します。

資料は教育プランの各重点事業の点検及び評価シート、「町田の図書館」（未定稿）、などを提供します。

各委員からの質問やご意見をいただきます。

- ・ 委員のみなさんからすべての事業についてコメントをいただきたいです。中でも特にコメントをいただきたい事業について、担当委員を設定させていただきました。

（資料 5-3 参照）

担当になった項目と指定館（2025 年度は中央図書館）についてのコメントをお願いいたします。コメントはメールで送付ください。

・第 2 回協議会では、送付いただいたコメントを事務局がまとめたものを資料として提示し、確認や追加の意見をいただき、まとめを作成します。

ウ、その他

・評価コメントは良かったと思う点、足りなかったと思う点、期待することなど、気軽にご意見ください。

・2025 年度は中央図書館を対象とし、第 2 回協議会前に、希望する協議会委員を対象に館内見学を行います。

・2026 年度以降は順次、さるびあ図書館、金森図書館、木曽山崎図書館、堺図書館、忠生図書館を対象とします。協議会当日は希望する協議会委員を対象に館内見学を行い、会議は当該館、もしくは中央図書館で行う予定です。

3. 評価スケジュール

	第 2 1 期図書館協議会	図書館
第 1 回定例会 (9/26)	外部評価の依頼を受ける	外部評価依頼 図書館評価概要説明 事業内容説明 補助資料提供
	コメント案を作成・事務局へ送付 (締切 10/31)	コメント案の取りまとめ
(11 月)		取りまとめたコメント案を 各委員へ送付
	コメント案を確認 修正・追加があれば事務局へ送付 (締切 12/19 (仮)) 委員長・総評作成	コメント案の確認・修正
第 2 回定例会 (2/〇)	外部評価の内容決定	
(3 月)		図書館評価結果の公表

	教育プラン24-28 事業番号	重点事業	活動指標	担当委員
1	I-5-16	子ども・若者の読書活動の推進	①「第五次町田市子ども読書活動推進計画（2025年度～2029年度）」の策定と推進 ②若者が参画する読書普及イベントの実施件数	小山 工藤 中川 福田
2	I-5-18	学びにつなげる図書館体験	①図書館講座・図書館員体験の実施回数 ②移動図書館の出張運行箇所 ③レファレンス件数	仲村 大石 中川 高橋
3	II-3-23	多様な図書館サービスの提供	①障がい者サービスPR 展示等の実施件数 ②障がい者サービスボランティア養成講座の受講者数 ③デジター再生機器貸出・操作支援	大石 福田 吉田 二川原
4	III-2-33	図書館再編と運営体制の構築	①さるびあ図書館と中央図書館の集約 ②鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換と運営支援 ③図書館全体の運営体制の検討・構築	小山 仲村 吉田 若色
5	IV-2-39	地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援	①市民向け絵本の読み聞かせ講座（基礎編、応用編、実践編）の開催回数 ②おはなし会ボランティアの新規登録者数 ③障がい者サービスボランティア養成講座の受講者数（再掲）	工藤 高橋 二川原 若色
6	図書館各館	中央図書館（2024年度）		全委員

基本方針Ⅰ	施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する		
重点事業16	子ども・若者の読書活動推進	所管課	図書館
目的	・子どもや若者が多種多様な情報から主体的に必要な情報を選び、自身の考えを形成する能力を身に付けることができるように、子ども・若者の読書活動を推進します。		
事業概要	・「第五次町田市子ども読書活動推進計画(2025年度～2029年度)」を策定し、推進します。 ・読書や図書館に興味がわくようなイベントを実施し、子どもや若者が読書や図書館に興味をもつきっかけをつくります。 ・文学館では絵本や児童文学などを題材にした展覧会・イベントを開催し、絵本や物語の魅力を伝えます。		
活動指標	指標	目標値(2024年度)	実績値(2024年度)
	①「第五次町田市子ども読書活動推進計画(2025年度～2029年度)」の策定と推進	策定	策定
	②若者が参画する読書普及イベントの実施件数	2件	5件
	③絵本、児童文学、漫画を題材にした展覧会の実施	実施	実施
2024年度の計画に対する達成状況	A 計画以上に目標を達成した		
達成状況の理由	①は目標を達成し、②は目標以上の成果を達成し、③は目標を達成し、さらに「チリとチリ展」では開館以来最高の来館者数であったため、A評価としました。		
2024年度の取り組み状況	①国や東京都の計画や、子ども読書の現状を踏まえながら、町田市子ども読書活動推進計画推進会議に諮り、計画を策定しました。 ②イベントの企画運営を行う若者ボランティア「図書館プランナー(*)」が企画したイベントを5件実施することができました。 <実施企画>「本の福袋」企画、「恋と愛が叫びたがっているんだ 恋愛漫画推し語り会」、「図書みくじ」、「LLブック(*)のよみきかせ会」、「エコたわしをつくろう」 ③「チリとチリ展」を実施し、開館以来最高の17,134人の来館者となり絵本の世界を多くの人に知ってもらうことができました。また、会期中に実施した幼児から小学生を対象としたワークショップは、子どもたちが絵本の世界を楽しむ機会となりました。浅野いにおのミニ展示は、作品の映画公開に合わせて実施しました。		
課題	①子どもの不読率を下げるために、関係各所で連携して取り組む必要があります。 ②今後も活発な活動が継続してできるようにする必要があります。 ③子どもや若者が自ら本に興味をもてるよう、作品の選別、展示内容の工夫が重要です。		
今後の取組の方向性	①町田市子ども読書活動推進計画推進会議で、子どもの読書活動について関係各所と情報共有を行っていきます。 ②今後も「図書館プランナー」が活発に活動ができるように、サポートを行っていきます。 ③夏季企画展を中心に絵本等の作品世界を楽しめる展覧会を企画・実施します。		

基本方針Ⅰ	施策5 学びのきっかけとなる機会を提供する		
重点事業18	学びにつなげる図書館体験	所管課	図書館
目的	・市民の学びのきっかけとなるように、図書館サービスをより多くの人に体験してもらう取組を実施します。		
事業概要	・自分に合った図書館の利用方法を知ってもらうための講座等を実施します。 ・本との出会いをつくるため、移動図書館によるイベントへの出張運行や保育園・幼稚園への訪問活動を実施します。 ・暮らしの中で役に立つレファレンス事例を紹介するリーフレット等を作成するなど、レファレンスサービス(*)を身近に感じる取組を実施します。		
活動指標	指標	目標値(2024年度)	実績値(2024年度)
	①図書館講座・図書館員体験の実施回数	8回	11回
	②移動図書館の出張運行箇所	12か所	13か所
	③レファレンス件数	4,000件	3,978件
2024年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した		
達成状況の理由	①②は目標以上の成果を達成し、③は目標に一步届かなかったため、B評価としました。		
2024年度の取り組み状況	①図書館の活用方法などを学ぶ講座・体験等を合計11回実施しました。講座等の総参加者数は172人で、特に、夏休み期間に行った中高生向け講座・謎解きイベント「まちクエ2024」は大人も含め127人の参加があり、図書館を知ってもらう良い機会を創出することができました。 <開催した講座等> 図書館入門講座、調べもの講座、小学生向け講座、中高生向け講座、絵本講座、まちだ探・探ゼミナール(生涯学習センター共催)、大学図書館を使ってみよう(和光大学共催)、一日図書館員(4回) ②イベント会場や保育園・幼稚園など子どもの集まる場所へ13か所、73回実施し2,586人の方にご利用いただきました。会場では本の貸出やおはなし会を行い、日頃図書館を使用しない方も含め、図書館サービスを体験してもらうことができました。 ③2024年度のレファレンス件数は、3,978件でした。関連事業として、レファレンス事例や資料を紹介する「レファレンス通信」を2回発行、パスファインダー「医療情報編」3種類の改訂、レファレンス事例をインターネットで27件公開するとともに国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している「レファレンス協同データベース」にも公開しました。		
課題	①講座の募集において内容がわかりにくいものがあったため、内容の整理やPR方法の工夫をする必要があります。 ②図書館サービスを多くの方へ体験していただくために、子どもが集まる場所を中心に新たな運行先を増やす必要があります。 ③レファレンスについては、サービスの認知度の向上と、充実に向けた人材育成を行う必要があります。		
今後の取組の方向性	①それぞれの講座で重複する部分などの整理を進めて、効果的に講座を開催できるようにします。 ②保育園や幼稚園などへのニーズ調査や出張運行のPR活動を行い出張運行先の拡大に取り組みます。 ③レファレンスについては、既存の取組を継続するとともに、その内容を情報発信することで多くの方にレファレンスサービスを活用してもらえるようにします。		

基本方針II	施策3 誰もが学べる機会を提供する		
重点事業23	多様な図書館サービスの提供	所管課	図書館
目的	・全ての人が自分の利用しやすい方法で読書ができるよう、読書バリアフリー法に基づいたサービスを提供します。		
事業概要	・対面朗読、音訳資料や点訳資料の製作・貸出、資料の郵送貸出サービスなどを行い視覚障がい者等へサービスを提供します。また、図書館への来館が困難な市民に向けて宅配サービスを提供します。電子書籍の特性を生かし、来館が困難な市民の読書を支援します。 ・展示等によりディスプレイ（識字障がい）等を含めた障がい者サービスのPRを行い、利用を促進します。 ・対面朗読などを行っているボランティアの技術向上に向けた講座や、新たにボランティアに興味をもてるような講座を開催します。 ・デージー（デジタル録音図書）再生機器の貸出や操作支援をすることで、障がい者のデジタル資料の活用を促進します。		
活動指標	指標	目標値（2024年度）	実績値（2024年度）
	①障がい者サービスPR展示等の実施件数	5件	8件
	②障がい者サービスボランティア養成講座の受講者数	10人	9人
	③デージー再生機器貸出・操作支援	実施	実施
2024年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した		
達成状況の理由	①は目標以上の成果を達成し、②は目標達成まであと一歩届かず、③は目標を達成したため、B評価としました。		
2024年度の取り組み状況	①8件の取組を実施し、サービスの周知をはかりました。 <実施事業> 中央図書館障がい者サービスフロアにサービス周知の掲示物を設置、マルチメディアDAISY上映会、リーディングトラッカー作りのワークショップ、点字絵本の特集コーナーを毎月設置、リーディングトラッカーの貸出、若手教員育成研修でマルチメディアDAISYの紹介、児童向け点字体験会、図書館プランナーによる「LLブックのよみきかせ会」 ②点訳ボランティア経験者向けの技能向上講座を行い、9人の参加がありました。 ③2024年度から貸出制度を開始し、2件の貸出及び操作支援を行いました。		
課題	①必要な方にサービスを利用してもらえるよう、PR展示などの広報を継続する必要があります。 ②ボランティア側の実施ニーズを調査し、効果的な講座を企画実施する必要があります。 ③貸出制度が始まったばかりであることから、対象者への周知を行う必要があります。		
今後の取組の方向性	①多くの方の利用につながるよう、展示やイベントなどの実施内容の改善を行います。 ②ニーズ調査を行い、効果的な講座を引き続き企画・実施します。 ③制度を周知し、必要とされる方に貸出を実施するとともに、デージー再生機器以外の読書支援ツールについて情報収集をします。		

基本方針III	施策2 学び続けることができる環境を整備する		
重点事業33	図書館再編と運営体制の構築	所管課	図書館
目的	・図書館サービスを安定的に果たし、新たな価値を創出するために、図書館の再編と運営体制の効率化について検討を行います。		
事業概要	・さるびあ図書館と中央図書館の再編においては、地域住民との対話を通じて最適な集約方法を検討します。 ・再編後の鶴川図書館について、地域住民の参画を進め、地域と「共に創り」「共に運営する」図書コミュニティ施設(*)へと転換します。 ・図書館全体の効率的・効果的な運営体制の検討・構築を目指します。		
活動指標	指標	目標値(2024年度)	実績値(2024年度)
	①さるびあ図書館と中央図書館の集約	検討	検討
	②鶴川図書館の図書コミュニティ施設への転換と運営支援	図書コミュニティ施設準備	図書コミュニティ施設準備完了
	③図書館全体の運営体制の検討・構築	検証	検証
2024年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した		
達成状況の理由	②は2025年度開設に向けた準備を完了することができ、目標以上の成果を達成しましたが、①③は目標達成であったためB評価としました。		
2024年度の取り組み状況	①地域住民との意見交換会を2回、子ども若者世代との意見交換会を1回実施しました。また、町田地区にお住まいの方1,500人を対象とした無作為抽出アンケート調査を実施し、525人から回答を得ました。 ②5月から、「(一社)つるかわ図書コミュニティ施設運営協議会」がコミュニティスペースの運営を開始し、利用者との意見交換や工作などを企画・実施しました。また、施設の愛称を地域で募集するなど、地域での関係を深めながら、施設の開設準備を完了させました。さらに、町田市立図書館条例の一部改正、施設運営事業に関する補助金交付要綱制定などを行いました。 ③指定管理者が運営する鶴川駅前図書館について、学識経験者2名で構成される管理運営状況評価委員会を開催し、2023年度の運営状況の評価結果の検証を行いました。利用者満足度や来館者数が目標を達成していることを確認し、施設の運営状況が良好であることを確認しました。また、鶴川図書館において、地域と共にコミュニティスペースの運営を開始しました。		
課題	①これまで地域からいただいたご意見をふまえ、最適な機能再編方法の決定に向けた検討を行う必要があります。 ②2025年5月からの運営がスムーズに行われるよう、運営団体の支援をする必要があります。 ③図書館全体の効率的・効果的な運営につながるよう、指定管理者の運営状況をモニタリングするとともに、つるかわ図書コミュニティ施設の効果検証手法を検討する必要があります。		
今後の取組の方向性	①機能再編方法の決定に向け、引き続き検討を進めます。 ②地域でのコミュニティづくりが進むよう支援を実施します。 ③引き続き毎月の運営状況の確認、評価委員会での検証を進めていきます。また、つるかわ図書コミュニティ施設の運営状況について効果検証を行います。		

基本方針Ⅳ	施策2 地域での学びを推進する		
重点事業39	地域で活動する図書館ボランティアの育成・支援	所管課	図書館
目的	・魅力的な本と出会い読書に関心をもってもらうため、本と触れ合うことができる活動がより地域で活発に行われるよう、地域や学校で活動するボランティアを支援します。		
事業概要	・おはなし会など本に関する活動を行うボランティアを育成するとともに、ボランティアが行うおはなし会の開催を支援します。 ・点訳や音訳のボランティアの技術向上や、おはなし会を実施できる担い手の裾野を広げるための講座を開催します。		
活動指標	指標	目標値(2024年度)	実績値(2024年度)
	①市民向け絵本の読み聞かせ講座(基礎編、応用編、実践編)の開催回数	3回	3回
	②おはなし会ボランティアの新規登録者数	5人	14人
	③障がい者サービスボランティア養成講座の受講者数(再掲)	10人	9人
2024年度の計画に対する達成状況	B 目標を達成した		
達成状況の理由	①は目標を達成し、②は目標以上の成果を達成し、③は目標達成まであと一歩届かなかったため、B評価としました。		
2024年度の取り組み状況	①市内の小学校や学童クラブなどで読み聞かせに関わる活動をしている保護者等を対象として、基礎編を2回、実践編を1回実施しました。 ②絵本の読み聞かせを主に行うおはなし会ボランティア養成講座を新規に開催し、ボランティア登録をしていただきました。受講者は15人、修了者は14人でした。 ③点訳ボランティア経験者向けの技能向上講座を行い、9人の参加がありました。		
課題	①講座内容が固定化しており、興味を引くような新たなテーマでの講座の開催について検討する必要があります。 ②登録をしていただいたボランティアへの活動支援を実施する必要があります。 ③ボランティア側の実施ニーズを調査し、効果的な講座を企画実施する必要があります。		
今後の取組の方向性	①新たなテーマを設定し講座を開催します。 ②ボランティアの方が図書館でのおはなし会を担っていけるように活動支援を行います。 ③障がい者サービスボランティア養成については、ニーズ調査を行い、効果的な講座を引き続き企画・実施します。		

【用語の解説】 * 印

●図書館プランナー
15歳から25歳までの図書館でのイベントの企画や運営を行うボランティアのこと。
●LLブック
誰もが読書を楽しめるように工夫してつくられた、「やさしく読みやすい本」のこと。
●レファレンスサービス
利用者からの様々な調べものについて、図書館の資料や機能を活用してお手伝いするサービスのこと。
●図書コミュニティ施設
本を介して目的や用事がなくても気軽に過ごせる地域の居場所となるよう、本の閲覧や貸出を行う「図書提供機能」と、利用者同士や地域の方々との会話や地域活動等を生み出す「コミュニティ機能」を併せもつ、地域の方々が主体となって運営する施設。

2024年度 事業別行政評価シート

部名				生涯学習部	主管課名	図書館
歳出目名	図書館費	特定事業名	中央図書館事業	事業類型	2:施設運営型	

1.事業概要

基本情報	根拠法令等 図書館法、町田市立図書館条例、町田市立図書館条例施行規則							
		2022年度	2023年度	2024年度	施設の名称	町田市立中央図書館		
	蔵書数(視聴覚資料含む)	580,278点	581,259点	584,142点	建設年月日	1990年4月16日		
	予約・リクエスト件数	157,344件	134,937件	128,250件		2022年度	2023年度	2024年度
	貸出者数	295,924人	281,263人	264,858人	有形固定資産減価償却率	63.6%	66.1%	68.6%

2. 2023年度末の総括と2024年度の状況

①「成果および財務の分析」を踏まえた事業の課題

- ◆「町田市教育プラン24-28」に掲げた、子ども・若者の読書活動の推進、多様な図書館サービスの提供、図書館再編と運営体制の構築などの取組の展開が必要です。
- ◆若者から提案されたイベントの実現に向けて、必要なサポートを行います。
- ◆電子書籍サービスにつきましては引き続き利用促進に取り組む必要があります。

②「課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み」および取り組み状況

短期的な取り組み(1~2年)				中長期的な取り組み(3~5年)			
◆若者からの提案を実現できるよう、中央図書館でのバックアップに取り組めます。◆電子書籍サービスの利用促進のためさらなるPRIに取り組むとともに、学校との連携を継続し、児童・生徒の読書活動の支援を行います。◆消防設備点検結果を活用し、防火シャッターや排煙口改修工事など修繕を行います。				◆「町田市教育プラン24-28」に掲げた、子ども・若者の読書活動の推進、多様な図書館サービスの提供、図書館再編と運営体制の構築などの取組を推進します。			
◎ 高校生・大学生を中心とした図書館プランナーが企画したイベントを、5件実施しました。				◆安心・安全に利用していただくために、老朽化が進む中央図書館の修繕を計画的に行い、施設の安全管理に努めます。			
◎ 電子書籍サービスは各種イベント等図書館以外の場所でもPRすることで、2023年度より14,815点増加し119,112点の貸出がありました。							
○ 図書館の活用方法を知ってもらうための講座や体験等のイベントを開催し、185人の参加がありました。							

3.事業の成果

①成果指標の目標と実績

成果指標名	単位	区分	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度目標	目標(達成時期)	成果指標の定義
貸出点数	点	目標	1,138,000	1,138,000	1,138,000	1,138,000	1,138,000	1年間に貸出した図書資料の延べ点数(視聴覚資料を含む、電子書籍は含まない)
		実績	848,298	809,106	762,815		(2025年度)	
来館者数	人	目標	612,000	612,000	612,000	612,000	612,000	1年間に来館した利用者の延べ人数
		実績	526,063	546,529	538,159		(2025年度)	

②成果指標およびその他成果の説明

- ◆システム更改による休館の影響もあり2023年度と比較して来館者数は8,370人減少しましたが、月平均では増加しています。◆英語図書の活用や英語多読の周知のため、2回開催した英語多読講演会に29人、保護者向け(親子で参加)英語絵本読み聞かせ講座に13組の参加がありました。◆小・中学生の創造的思考力を育むため、デジタルツールを使った創作体験講座を開催し17人の参加がありました。◆図書館プランナーが企画したイベントを5件実施し、16人の参加がありました。◆中高生向けグループ学習室「わいわいキャレール」は延べ290組724人が利用しました。

4.財務情報

①行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	2022年度	2023年度	2024年度	差額	勘定科目	2022年度	2023年度	2024年度	差額
		A	B	B-A			A	B	B-A
人件費	331,027	343,202	384,444	41,242	地方税	0	0	0	0
物件費	162,562	134,109	174,597	40,488	国庫支出金	0	1,290	9,927	8,637
うち委託料	58,705	58,038	101,290	43,252	都支支出金	8,520	8,963	12,180	3,217
維持補修費	5,026	9,657	3,774	△ 5,883	分担金及負担金	0	0	0	0
扶助費	0	0	0	0	使用料及手数料	0	0	0	0
補助費等	54,984	54,172	54,543	371	その他	1,605	1,394	4,188	2,794
減価償却費	34,830	34,830	34,830	0	行政収入 小計(a)	10,125	11,647	26,295	14,648
不納欠損引当金繰入額	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	△ 640,897	△ 615,379	△ 705,553	△ 90,174
賞与・退職手当引当金繰入額	62,593	51,056	79,660	28,604	金融収支差額(d)	0	0	0	0
行政費用 小計(b)	651,022	627,026	731,848	104,822	通常収支差額(c)+(d)=(e)	△ 640,897	△ 615,379	△ 705,553	△ 90,174

5.総括

①財務情報・非財務情報に基づく有効性の分析

- ◆おはなし会は延べ77回835人の参加がありました。夏休みイベント子ども向けクイズ「まちくエキッズ」は全問正解者79人でした。中学生から大学生向けの「一日図書館員」は延べ4回13人の参加がありました。「本のおたのしみぶくろ」は258袋773冊の貸出しがありました。◆こども映画会の参加者は155人、青少年映画会「Yシネマ」は64人、通常の映画会は全28回2,047人になりました。◆障がい者サービスのPRのため、マルチメディアDAISY上映会やリーディングトラッカー作り、点字体験会などを行いました。◆機器類を持たない方が電子書籍サービス等を利用できるようにタブレット端末を用意し、88回貸出を行いました。◆第1号から掲載してある『広報まちだ縮刷版』等の地域資料98点、『まちだガイド』等の地図7点をデジタル化して電子書籍サイトに公開しました。

②財務情報・非財務情報に基づく効率性の分析

- ◆人件費は、職員構成の変動などにより41,242千円増加しました。◆物件費は、新図書館システム導入委託料の増加などにより40,488千円増加しました。◆維持補修費は、空調調和設備改修工事が完了したことなどにより5,883千円減少しました。◆国庫支出金は、デジタル田園都市国家構想交付金の増加などにより8,637千円増加しました。◆都支支出金は、市町村総合交付金の増加などにより3,217千円増加しました。◆その他行政収入は、ふるさと納税の増加などにより2,794千円増加しました。◆財源確保のため2025年2月から自動販売機を設置し、行政財産貸付料と売上分配金あわせて69千円の収入がありました。

③2024年度末の成果および財務の分析を踏まえた事業の課題

- ◆「町田市教育プラン24-28」に掲げた、子ども・若者の読書活動の推進、多様な図書館サービスの提供、図書館再編と運営体制の構築などの取組の展開が必要です。
- ◆電子書籍サービスの認知度はまだ低いと考えられるため、利用促進に向けた取り組みが必要です。
- ◆非来館で登録・更新可能など新図書館システムの機能についてPRIし、新規利用者を増加させます。
- ◆若者から提案されたイベントの実現に向けて、サポートを行う必要があります。

④課題解決・目標達成に向けた今後の取り組み

短期的な取り組み(1~2年)				中長期的な取り組み(3~5年)			
◆電子書籍サービスの利用促進のためさらなるPRIに取り組むとともに、学校との連携を継続します。◆新図書館システムになり来館せず利用者登録ができること、電子書籍サービスが利用できることをPRIし、新規利用者を増加させます。◆若者からの提案を実現できるよう、中央図書館でのバックアップに取り組めます。				◆「町田市教育プラン24-28」に掲げた、子ども・若者の読書活動の推進、多様な図書館サービスの提供、図書館再編と運営体制の構築などの取組を推進します。◆安心・安全に利用していただくために、老朽化が進む中央図書館の修繕を計画的に行い、施設の安全管理に努めます。			

図書館からの報告事項

1. 2025 年度の図書館の体制について

(1) 役職者の一覧

所属・役職	氏 名	備 考
図書館長	中嶋 真	
副館長	本郷 剛	
担当課長	根岸 良美	スポーツ振興課から転入
総務係長	菅根 朋子	学務課から転入
企画・地域支援係長	明楽 博義	
担当係長	芝崎 知子	
資料管理係長	高松 昌司	
担当係長	柴田 竜臣	
中央図書館サービス係長	海老澤 幸子	
担当係長	野口 修子	
担当係長	佐倉 智博	
さるびあ図書館サービス係長	大西 勝典	
担当係長	菱谷 圭一	
金森図書館サービス係長	保科 明雄	
忠生地域図書館サービス係長	中村 美栄子	
担当係長	宮内 雄史	木曽山崎図書館
堺図書館サービス係長	大澤 友佳理	市民税課から転入

※鶴川駅前図書館は 2022 年度から指定管理者（久美堂・ヴィアックス共同事業体）による運営

※鶴川図書館は 2025 年度からつるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」に転換

(2) 事務局担当者

総務係	田中 雅子 鈴木 美里	
-----	----------------	--

2. 町田市議会の動向

(1) 第 1 回定例会（2 月 20 日～3 月 27 日）

①図書館に関連する議案等

- ・第 1 号議案 令和 6 年度（2024 年度）町田市一般会計補正予算
 - ・デジタル田園都市国家構想交付金 23,433 千円（システム更改の財源）
 - ・システム保守点検委託料 △ 6,765 千円（堺図書館システム関連費用）
- ・第 8 号議案 令和 7 年度（2025 年度）町田市一般会計予算

(主なもの)・図書購入費	33,991 千円
・電子書籍システム使用料	6,160 千円
・図書コミュニティ施設運営事業補助金	21,889 千円
・システム保守点検委託料	6,765 千円 (堺図書館分)

②文教社会常任委員会

(2月20日)

- ・第1号議案 2024年度補正予算(生涯学習部所管分)

(3月6日)

- ・第8号議案 2025年度当初予算(生涯学習部所管分)
- ・行政報告 「第五次町田市子ども読書活動推進計画」の策定について
- ・行政報告 鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況について

③一般質問(3月12日～18日)

- ・三遊亭らん丈議員「町田市立図書館は今後どのように便利になるのか」
(1) 3月25日から始まる新しいサービス内容について問う。

(2) 第2回定例会(6月2日～25日)

①一般質問(6月5日～11日)

- ・田中美穂議員「あらゆる市民が使いやすい図書館を求めて」
(1) システム更新後にトラブルがさまざまあったと聞いているが、内容、原因、対応について問う。
(2) 予約図書到着の連絡をメールで受け取れない方に、はがきの送付を再開すべきかどうか。

(3) 第3回定例会(8月27日～9月30日)

①一般質問(9月1日～5日)

- ・田中美穂議員「町田市立図書館について」
(1) 職員体制を問う。
(2) 月曜完全休館による職員への影響を問う。
(3) 職員体制の充実を求めるがどうか
(4) さるびあ図書館の存続を求めるがどうか

②文教社会常任委員会(9月10日)

- ・認定第1号 2024年度決算認定(生涯学習部所管分)

3. 町田市教育委員会の動向

(1) 第1回定例会(4月11日)

- ・報告「鶴川図書館における図書コミュニティ施設に向けた取組状況について」
- ・報告「第五次町田市子ども読書活動推進計画」の策定について
- ・報告「「推し本を伝えよう！ひとことPOPコンテスト2024」の開催結果について」

(2) 第5回定例会(8月1日)

議案第17号「第21期図書館協議会委員の委嘱について」

4. 各種計画(町田市5ヵ年計画22-26、公共施設再編計画、教育プラン24-28など)に基づく取組み

(1) つるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」の開館について【資料7】

(2) 「押し本を伝えよう！ひとことPOPコンテスト2025」の開催について【資料8】

(3) 「ことばらんどショートショートコンクール2025」の実施について

- ・応募期間 2025年7月1日～9月20日
- ・応募資格 町田市在住・在学の小・中・高校生
- ・募集作品 ショートショート(400字詰め原稿用紙1～5枚)
※テーマの設定はありません。

(4) 地域資料のデジタル化について【資料9】

5. その他

(1) 堺市民センター改修工事に伴う堺図書館の運営について

(2) 移動図書館利用者アンケートについて

- ・2025年10月～11月実施予定

(3) 2025年度 図書館利用者アンケートについて

- ・2025年11月実施予定(鶴川駅前図書館)
- ・2025年12月実施予定(鶴川駅前図書館を除く全館)

つるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」のオープンについて

鶴川図書館は、2025年5月10日からつるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」に生まれ変わりました。「つるぼん」のサービス内容、オープニングイベント、などについて報告します。

1 つるかわ図書コミュニティ施設「つるぼん」のサービス内容

開館時間 及び休館日	開館時間：10：00～17：00 休 館 日：月曜日、第二木曜日、年末年始
図書貸出サービス	・本や雑誌の貸出と閲覧（専用の利用券を使用） ・貸出数：3冊、貸出期間：2週間 ・市立図書館の予約本受渡サービス
コミュニティ形成 の取組	・コミュニティースペースでのおしゃべり会 ・おはなしに出来る会や地域活動紹介などの月替わり館内イベント ・商店街や地域団体と連携したイベントの開催

2 2025年5月10日のオープニングイベント

イベント名	つるぼんから始まる本との出会い、人とのつながり
参 加 人 数	1, 213人
開 催 内 容	・つるぼん開設に伴うセレモニー ・シャボン玉アーティストによるパフォーマンス ・2024年度のコミュニティスペース運営協力者によるワークショップやトークセッション



3 2025年6月以降のイベント

日付	イベント名	イベント内容	参加人数
6月15日	自己紹介からはじめよう！	つるぼんスタッフ・参加者が「自分のおすすめの本」を介して自己紹介	4人
7月20日	英語でお買い物ごっこ	参加者が店員役とお客さん役を交代しながら、英語を使ったお買い物の疑似体験	30人
7月25日	たたき染めワークショップ	野草を使ったたたき染めを体験	22人
7月25日	夏休み宿題解決大作戦	鶴川地区協議会主催「ハッピーフライデー」の特別企画で、会場にいた参加者につるぼんの取組を紹介	18人
8月06日	つるぼんで！アフリカ体験	アフリカ布 SHWESHWE を使ったかごバッグづくり	14人
8月17日	未来の新聞を作ろう！	新聞の良さ、面白さを再認識するため、古新聞から言葉や、写真、絵を切り抜き、個性的な自分だけの新聞作成	4人
8月26日 ～31日	夏休み宿題やっつけたい！	宿題を集中して終わらせられるようつるぼんBOXを開放。	14人
10月	鶴川団地秋祭 アートイベント	計画中	—

この他、毎月1回「おはなしに会える会」を開催しています。

■英語でお買い物ごっこ

■たたき染めワークショップ

■つるぼんで！アフリカ体験





押し本を伝えよう！

ひとこと POP コンテスト 2025

優秀作品は
こしおりに
なります！

オリジナル
好きな本を
POPで
みんなにオススメ！



提出期間

2025年11月15日(土)から2026年1月18日(日)
※郵送は1月18日必着

提出 できる人

小学校4年生から18歳の
町田市に住んでいる人、町田市の学校に通っている人、
近くの市で町田市と連携している市※に住んでいる人
※相互利用市(相模原市、八王子市、日野市、多摩市、調布市、
稲城市、府中市、川崎市、大和市、横浜市)

提出先

町田市立図書館・町田市民文学館ことばらんどへ！
郵送の場合は、下記の住所にお送りください。
〒194-0013 町田市原町田3-2-9
中央図書館企画・地域支援係

応募についての詳細は町田市立図書館ホームページをチェック！
2024年度の実賞作品もご覧いただけます！

QR

コード

主催：町田市立図書館
協力：

お問合せ 町田市立中央図書館 ☎042-728-8220



POPの 大きさ

- ・紙の大きさ:26×11cm、上下左右に余白を1cm取る。
- ・紙の種類:画用紙程度の厚みのある紙
- ・画材:自由です。手描きで書いてください。△えんぴつだけ(色がうすい!)◎おすすめは濃く描けるマーカーなど!

応募の 注意

- ・どんな本でもOK!(マンガを除く)。
- ・POPは、未発表作品であること。オリジナルで勝負!
- ・著作権を侵害する恐れのあるイラスト・文章などは使用しないこと!本に書いてあるコトバ(イラスト)ではなく、自分のコトバ(イラスト)でオリジナルな紹介POPをつくろう!
- ・作品の著作権・所有権は町田市立図書館に帰属します。作品は返却しません。
- ・学校名・学年・氏名などが、広報紙や図書館ホームページ、特設コーナー等に公開されることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・作品の裏面に「応募票」を貼り付けてください。

審査と表彰

(1)審査基準

- ①文章とイラストのバランス、②その本の魅力が伝わるか

(2)各賞

最優秀賞1名、優秀賞2名、
図書館協議会賞1名、図書館長特別賞1名

1月下旬
図書館職員に
よる第一次審査

2月上旬から中旬
図書館ホームページで
第一次審査通過者のお知らせ&
来館者等の投票による第二次審査
(上位10作品)

3月下旬
図書館ホーム
ページで受賞者
の発表

----- 応募票(作品の裏面に貼り付けてください) -----

職員記入用	氏名	姓	(ふりがな)	名	(ふりがな)
-	学校名	小・中・高・大		年	年齢
住所					
〒					
連絡先 (日中連絡がつく電話番号や留守電など)					
名前(本人・保護者):				TEL:	
※学校等に連絡を希望する場合にはこちらをご記入ください					
学校名等:		担当者名:		連絡先TEL:	
読んだ本の名前					
作者				出版社名	



POP コンテスト 2025 図書館協議会賞の投票について

「推し本を伝えよう！ひとことPOPコンテスト2025」の第1次審査通過10作品から、図書館協議会賞を決定するため第2次審査をお願いいたします。

別添の「第1次審査通過作品（PDF）」をご確認いただき、上位4作品を選んで下記の表にご記入の上、メールでご提出ください。委員名、作品番号、本のタイトル、選んだポイントについてもひとことお願いします。

締切り：2月18日（水曜日）までに必ず返信

委員名：

順位	作品番号	本のタイトル	選んだポイントをひとことお願いします
1			
2			
3			
4			

○1位は4点、2位は3点、3位は2点、4位は1点、として集計させていただきます。

○上位4作品を決定します。（同点の場合は、委員長が順位を決定します。）

○最優秀賞・優秀賞に当たらなかった、最上位の作品を図書館協議会賞とします。

〈問い合わせ先〉

担当：生涯学習部図書館

企画・地域支援係 吉田・野木・廣瀬

TEL：042（728）8220

電子メール：

町田市立図書館地域資料のデジタル化および公開について

1 背景

- ・デジタル化技術の進歩、インターネットの普及
- ・国会図書館をはじめとする図書館資料のデジタル化及び公開
- ・町田市の地域資料の劣化

2 デジタル化の目的と効果

- ・資料の保存、原資料の保護
- ・非来館型サービスの提供
- ・地域の情報の広域発信

3 公開までの流れ

- ・2014 年度 : 図書館事業計画の施策「地域資料のデジタルアーカイブ化による所蔵資料情報と IT 情報の一体化」として設定
(これ以降、図書館評価項目の一つとなる)
- ・2019 年度 : 生涯学習推進計画の取組 5-6「地域資料の活用の推進」として設定
- ・2021 年 3 月 : 『町田市立図書館地域資料デジタルアーカイブの考え方』策定
- ・2022 年度 : 町田市 5 ヶ年計画の「新たな図書館様式の推進」の一つとして設定
- ・2024 年度 : 予算化及び補助金「デジタル田園都市国家構想交付金」対象事業に
- ・2024 年 11 月 : デジタル化作業開始 (2025 年 2 月まで)
- ・2025 年 1 月 : 電子書籍サイトでの公開開始 (全点公開は 2025 年 3 月 28 日)

4 公開点数 (別紙参照)

- ・地図資料 : 7 点
- ・図書資料 : 98 点 (ページの多いものは分割している)

5 電子書籍サイトでの閲覧内容

- ・「町田資料」としてまとめ、「広報まちだ」、「市史・村史・教育史」、「市勢要覧」、「わたしたちの町田」、「地図資料」、「その他」とカテゴリ分けしている。
- ・誰でも閲覧できるよう「サンプルを読む」で全てのページを閲覧可能とした。
- ・目次でのジャンプ機能あり。

【資料 9 - 2】

	デジタルデータ作成上の書誌情報			
	タイトル	著者／编者	発行／出版社	発行年月
1	町田市案内	企画部秘書課広報係	町田市	1970年頃
2	まちだ市あんない	企画部秘書課	町田市	1975年1月
3	まちだガイド		町田市	1985年1月
4	まちだガイド	企画部広報課	町田市	1995年2月
5	まちだガイド	企画部広報広聴課	町田市	2005年3月
6	まちだガイド	政策経営部広報課	町田市	2015年3月
7	まちだガイド	政策経営部広報課	町田市	2024年3月

電子書籍納品リスト

	タイトル	著者／編者	発行／出版社	発行年月
1	広報まちだ縮刷版 1号－200号（1／4）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1973
2	広報まちだ縮刷版 1号－200号（2／4）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1973
3	広報まちだ縮刷版 1号－200号（3／4）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1973
4	広報まちだ縮刷版 1号－200号（4／4）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1973
5	広報まちだ縮刷版 201号－300号（1／3）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1976
6	広報まちだ縮刷版 201号－300号（2／3）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1976
7	広報まちだ縮刷版 201号－300号（3／3）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1976
8	広報まちだ縮刷版 301号－400号（1／3）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1977
9	広報まちだ縮刷版 301号－400号（2／3）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1977
10	広報まちだ縮刷版 301号－400号（3／3）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1977
11	広報まちだ縮刷版 1977年版	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1980
12	広報まちだ縮刷版 1978年版	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1980
13	広報まちだ縮刷版 1979年版	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1980
14	広報まちだ縮刷版 1980年版	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1981
15	広報まちだ縮刷版 1981年版（1／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1982
16	広報まちだ縮刷版 1981年版（2／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1982
17	広報まちだ縮刷版 1982年版（1／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1983
18	広報まちだ縮刷版 1982年版（2／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1983
19	広報まちだ縮刷版 1983年版（1／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1984
20	広報まちだ縮刷版 1983年版（2／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1984
21	広報まちだ縮刷版 1984年版（1／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1985
22	広報まちだ縮刷版 1984年版（2／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1985
23	広報まちだ縮刷版 1985年版（1／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1986
24	広報まちだ縮刷版 1985年版（2／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1986
25	広報まちだ縮刷版 1986年版（1／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1987
26	広報まちだ縮刷版 1986年版（2／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1987
27	広報まちだ縮刷版 1987年版（1／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1988
28	広報まちだ縮刷版 1987年版（2／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1988
29	広報まちだ縮刷版 1988年版（1／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1989
30	広報まちだ縮刷版 1988年版（2／2）	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1989
31	広報まちだ縮刷版 1989年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1990
32	広報まちだ縮刷版 1989年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1990
33	広報まちだ縮刷版 1990年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1991
34	広報まちだ縮刷版 1990年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1991
35	広報まちだ縮刷版 1991年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1992
36	広報まちだ縮刷版 1991年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1992
37	広報まちだ縮刷版 1992年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1993
38	広報まちだ縮刷版 1992年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1993
39	広報まちだ縮刷版 1993年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1994
40	広報まちだ縮刷版 1993年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1994
41	広報まちだ縮刷版 1994年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1995
42	広報まちだ縮刷版 1994年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1995
43	広報まちだ縮刷版 1995年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1996
44	広報まちだ縮刷版 1995年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1996
45	広報まちだ縮刷版 1996年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1997
46	広報まちだ縮刷版 1996年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1997
47	広報まちだ縮刷版 1997年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1998
48	広報まちだ縮刷版 1997年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1998
49	広報まちだ縮刷版 1998年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	1999
50	広報まちだ縮刷版 1998年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	1999
51	広報まちだ縮刷版 1999年版（1／2）	町田市企画部広報課	町田市	2000
52	広報まちだ縮刷版 1999年版（2／2）	町田市企画部広報課	町田市	2000

53	広報まちだ縮刷版 2000年版(1/2)	町田市企画部広報広聴課	町田市	2001
54	広報まちだ縮刷版 2000年版(2/2)	町田市企画部広報広聴課	町田市	2001
55	広報まちだ縮刷版 2001年版(1/2)	町田市企画部広報広聴課	町田市	2002
56	広報まちだ縮刷版 2001年版(2/2)	町田市企画部広報広聴課	町田市	2002
57	町田市史史料集 第1集		町田市史編纂委員会	1970
58	町田市史史料集 第2集 村誌編(1/2)		町田市史編纂委員会	1971
59	町田市史史料集 第2集 村誌編(2/2)		町田市史編纂委員会	1971
60	町田市史史料集 第3集 近世庶民資料編 1(1/2)		町田市史編纂委員会	1971
61	町田市史史料集 第3集 近世庶民資料編 1(2/2)		町田市史編纂委員会	1971
62	町田市史史料集 第4集 中世編(1/2)		町田市史編纂委員会	1971
63	町田市史史料集 第4集 中世編(2/2)		町田市史編纂委員会	1971
64	町田市史史料集 第5集 近世庶民資料編 2(1/2)		町田市史編纂委員会	1972
65	町田市史史料集 第5集 近世庶民資料編 2(2/2)		町田市史編纂委員会	1972
66	町田市史史料集 第6集 中世編 続		町田市史編纂委員会	1972
67	町田市史史料集 第7集 明治前期経済史料・地租改正関係編(1/2)		町田市史編纂委員会	1972
68	町田市史史料集 第7集 明治前期経済史料・地租改正関係編(2/2)		町田市史編纂委員会	1972
69	町田市史史料集 第8集 自由民権編(1/2)		町田市史編纂委員会	1973
70	町田市史史料集 第8集 自由民権編(2/2)		町田市史編纂委員会	1973
71	町田市史史料集 第9集 明治期村財政・教育・生活関係編(1/2)		町田市史編纂委員会	1973
72	町田市史史料集 第9集 明治期村財政・教育・生活関係編(2/2)		町田市史編纂委員会	1973
73	町田町郷土誌	町田市立図書館		1933
74	南村誌	細野 喜代四郎	細野 喜代四郎	1915
75	忠生村誌	忠生村村誌編さん委員会	忠生村村誌編さん委員会	1963
76	鶴川村誌	鶴川村役場	國府慎一郎	1958
77	堺村誌	堺村誌編集委員会	堺村誌編集委員会	1975
78	堺村誌年表			不明
79	町田市勢要覧 1961	町田市役所総務課	町田市	1961
80	町田市勢要覧 昭和38年度版	町田市役所秘書室	町田市	1963
81	町田市市勢要覧 昭和39年度版	町田市役所総務部秘書課	町田市	1964
82	町田市市勢要覧 昭和41年度版	町田市役所企画部秘書課	町田市	1967
83	まちだ 昭和43年版	町田市役所企画部秘書課	町田市	1968
84	まちだ	町田市役所企画部企画課広報係	町田市	1970
85	まちだ '71	町田市役所企画部秘書課広報係	町田市	1971
86	町田 '73	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1973
87	まちだ '76	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1976
88	町田市20年の歩み	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1978
89	町田 '80	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1980
90	町田 '81	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1981
91	まちだ・人・ふれあい	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1983
92	まちだの顔	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1985
93	まちだ 市制施行30周年記念誌	町田市企画部秘書課広報係	町田市	1988
94	まちだ '89	町田市企画部広報課	町田市	1989
95	まちだ '90	町田市企画部広報課	町田市	1990
96	ともに創造する街まちだ	町田市企画部広報課	町田市	1993
97	多摩丘陵にはばたく市民文化都市 1995	町田市企画部広報課	町田市	1995
98	多摩丘陵にはばたく市民文化都市 町田市制40周年記念誌	町田市企画部広報課	町田市	1998
99	町田市勢要覧 2003	町田市企画部広報広聴課	町田市	2003
100	笑顔咲く街町田		町田市	2008
101	町田で描く未来のカタチ		町田市	2014
102	MACHIDA	町田市企画部広報課	町田市	1992
103	町田市の文化財 第1集 1963	町田市文化財保護委員会	町田市教育委員会	1963
104	町田市の文化財 第2集 1964	町田市文化財保護委員会	町田市教育委員会	1964
105	町田市の文化財 第3集 1965	町田市文化財保護委員会	町田市教育委員会	1965
106	町田市の文化財 第4集 1966	町田市文化財保護委員会	町田市教育委員会	1967
107	町田市の文化財 第5集 1967	町田市文化財保護委員会	町田市教育委員会	1968

108	町田市の文化財 第6集 1968	町田市文化財保護委員会	町田市教育委員会	1969
109	町田市の文化財 第7集 1969	町田市文化財専門委員会	町田市教育委員会	1970
110	町田市の文化財 第8集 1970	町田市文化財専門委員会	町田市教育委員会	1971
111	町田市の文化財 第9集 1971	町田市文化財専門委員会	町田市教育委員会	1972
112	町田市の文化財 第10集 1972	町田市文化財専門委員会	町田市教育委員会	1973
113	町田市の文化財 第11集 1973	町田市文化財専門委員会	町田市教育委員会	1974
114	郷土・小山田散歩	町田市立図書館郷土資料研究会	町田市立町田図書館	1984
115	薬師池をさぐる 改訂版	町田市立図書館郷土資料研究会	町田市立都市緑政部公園緑地課	2002
116	町田の地名のいわれ	町田市立図書館地域資料研究会	町田市立図書館	1993
117	町田の川と橋	町田市立図書館地域資料研究会	町田市立図書館	1994
118	町田市立中央図書館		町田市立中央図書館	1990
119	町田の歴史をたどる 1981年	町田の歴史をたどる編集委員会	町田市	1981
120	町田の歴史をたどる 2004年(1/2)	町田の歴史をたどる編集委員会	町田市教育委員会	2004
121	町田の歴史をたどる 2004年(2/2)	町田の歴史をたどる編集委員会	町田市教育委員会	2004
122	町田の歴史をさぐる	町田の歴史をさぐる編集委員会	町田市	1978
123	わたしたちの町田	町田市教育委員会	町田市教育委員会	1965
124	わたしたちの町田 1975	町田市教育委員会	町田市教育委員会	1975
125	わたしたちの町田 1984	町田市教育委員会	町田市教育委員会	1984
126	わたしたちの町田 3年 1994	町田市小学校社会科副読本編集委員会	町田市教育委員会	1994
127	わたしたちの町田 4年 1994	町田市小学校社会科副読本編集委員会	町田市教育委員会	1994
128	わたしたちの町田 2005	町田市教育委員会	町田市教育委員会	2005
129	わたしたちの町田 2015	町田市教育委員会	町田市教育委員会	2015